

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	演習3Rec専攻	
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	レコーディングエンジニア専攻	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	演習
教科書/教材	無				
担当教員情報					
担当教員	倉本 淳二・伊藤 優子		実務経験の有無・職種	有・レコーディングエンジニア	
学習目的					
レコーディングエンジニアとして必要な知識の再確認し、さらには詳細について掘り下げ理解していくことを目的とする。初回後はレコーディングエンジニア専攻実習（金）と基本的には連動した項目を挙げていく。エンジニアリングの目的は良い音である。良い音とは何か、自分で発見し、体験して行く事がなければ、形式だけの音になってしまうので、可能な限りのマイクの取扱方法に熟知し、楽器側の状態も考慮に入れた音作りが出来るようになることが大事である。					
到達目標					
スムーズな実習が行えるよう、しっかりとした下地を自分の中に作る。マイクロフォンの名称から各種特性を覚え、楽器やアーティストごとに適切なマイク選びができるようになる。クライアントの細かい注文にも対応できるよう、わずかの音の差にも気づき処理出来るようになる。また仕事全体の流れを円滑にできるよう、アーティストの意思を先読みし、コミュニケーションが適切に取れるようになること。					
教育方法等					
授業概要	実習に必要な知識を前もって学習したり、グループに分かれて実習のプランを立てる。				
注意点	1年次より高いレベルの学習内容になるが、必要に応じて基礎知識を補充していく。 録音プランは毎回表にして提出する。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	筆記試験を行う。		
	小テスト				
	レポート 成果発表 (口頭・実技)				
	平常点				
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	エコー①	主なリバーブの種類や、基本的なパラメータの働きを理解する			
2回	エコー②	ディレイ系エフェクターのパラメータによる効果の違いを学習する			
3回	マイクロフォン	マイクロフォンの種類ごとの構造の違いについて理解する			
4回	スピーカー	スピーカーユニットの構成やエンクロージャーの種類・働きについて学習する			
5回	マイクアレンジ	マイクロフォンの種類やセッティングによる、音の違いやマルチマイキングについて学習する			
6回	マイキング研究プランニング	班ごとにマイクの種類やセッティングを話し合い表にして提出する			
7回	ダイナミックプロセッサー①	コンプレッサーとリミッターの仕組みについて理解する			
8回	ダイナミックプロセッサー②	エキスパンダーとノイズゲートの仕組みについて理解する			
9回	アーティスト制作ガイダンス	アーティスト制作プロジェクトの内容と目的・役割について理解する			
10回	アーティスト制作プランニング	アーティスト制作プロジェクトの担当シフト割りプランニングをする			
11回	アナログテープレコーダー①	テープレコーダーの構造や各部の名称・役割を理解する			
12回	アナログテープレコーダー②	磁気テープ録音の原理と構造について学ぶ			
13回	色々なマイキング	実習では扱わないが、有名な楽器の録音方法について学ぶ			
14回	授業総括	授業の内容整理と内容補充			
15回	期末試験総括	試験の模範解答と解説 質疑応答			